

# Tachikoku Times

No.0029 11月号

東京都立立川国際中等教育学校  
<https://www.metro.ed.jp/tachikawa/s/>

Friday November 20, 2020

## 大学入試は長期戦!

**6年進路講演会** 第6学年の「進路講演会」が行われました。大手予備校の先生を講師としてお招きし、新しい入試に向けてのお話をして頂きました。大学入試共通テストの実施についてたくさんの情報が飛び交う中、「正確な情報を早期に収集し、冷静な情報分析・判断で事前準備を進めること。」とお話がありました。また、「大学入試は長期戦、体力・精神力は必須。」という言葉もありました。「いかに強気で第一志望をゆずらないという意識を持ち続けるかが大事な年。」になりたい自分になるために、これからも6年生の挑戦が続きます。



## もっともっと 仲良くなりたい

## 2年学年レク

感染症対応のため、例年実施している「体育祭」「文化祭」等の行事が中止になっています。クラスの団結・協力を育む行事を行うことができない状態が続いています。そんな中、第2学年の学年レクが行われました。学級対抗の「ドッジボール大会」です。担当の生徒の進行で行われたドッジボール大会。学級の友達の熱い声援の中、コートの中を走り、逃げ回り、クラスの仲間のために活動しました。短い時間の学年レクでしたが、同じ思いでコートに立って活動したことが、残り4か月半の2年生の生活に、各学級の活動に大きなプラスになることでしょう。



第4学年の「人間と社会」の授業が行われました。立川市社会福祉協議会と連携し、ゲストティーチャーとして様々な方々にお越し頂きました。「眼瞼下垂について」「性と生の境界な日々(クラインフェルター症候群)」「オストメイト(人口膀胱・人口肛門を取り付けた人)について」「台湾を離れ、日本に来て感じたこと」「育て上げネットで働き、感じたこと」「(自立生活センター立川による)それぞれの障害について」と多種のテーマについてお話を伺いました。様々な障害をお持ちの方々からは自分らしく地域で自立生活をされている様子を伺い、また車椅子や視覚障害についての体験をしました。日常生活の中では、なかなか出会うことができない事柄や体験を通して、今までは感じなかった思いや、知らなかった新たな視点をもつことができたのではないのでしょうか。4年の生徒のみなさんに、何かの「スイッチ」を与えてくれた授業でした。

## 新たな視点で



## 4年

## 「人間と社会」

た。関心意欲が高まる専門分野の内容だったので5年生の生徒たちの目も輝いていました。進路選択に迷う今、未来の自分に何かしらヒントになればよいですね。

高大連携事業がありました。「電気通信大学」「東京外国語大学」「東京工業大学」「東京都立大学」「山梨大学」「早稲田大学」の先生方による大学出張講座。高校の授業では学ぶことができない幅広い見識を得る貴重な機会となりました。

## 大学出張講座